

## 四国森林管理局入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成22年3月16日)

開催日及び場所	平成22年 1月29日(木曜日) 四国森林管理局会議室	
委員	渡邊 法美 (高知工科大学マネジメント学部教授) 横川 和博 (高知大学人文学部教授) 笹原 克夫 (高知大学農学部教授) 川合 通子 (高知県森と緑の会理事長) 古谷 純代 (高知商工会議所女性会会長)	
審議対象期間	平成21年 7月 1日～平成21年 9月30日	
審議対象案件	175件 うち、1者応札案件41件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 6件	
抽出案件	79件 うち、1者応札案件 22件 (抽出率45%) (抽出率54%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 3件 (抽出率50%)	
抽出案件	工事	一般競争 27件 うち、1者応札案件 3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争
		指 公募型指名競争 該当なし
		工 工事希望型競争 該当なし
	競 争	
	そ 其他の指名競争 該当なし	
	随 意契約 1件	
	業務	一般競争 17件 うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件
		指名競争
		指 公募型競争 該当なし
		簡 簡易公募型競争 該当なし
		競 争
		そ 其他の指名競争 該当なし
		随 意契約
		標 標準型プロポーザル 該当なし
	約	
簡 簡易公募型プロポーザル 該当なし		
標 標準型プロポーザル 該当なし		
約		
そ 其他の随意契約 該当なし		
内等	物品	
	一般競争 34件 うち、1者応札案件 17件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	・ 指名競争 該当なし	
	随 意契約(企画競争・公募) 該当なし	
等	随 意契約(その他) 該当なし	
(特記事項) なし		

	意見・質問	回答等
<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>○ 依然として建設コンサルタント業務の落札率が低く、この状態が続けば成果品の質の低下を懸念する。 また、コンサルタント業者へのダメージも大きい。役所として何らかの処置を行えないのか。</p> <p>○ ある物件では最低価格で落札した業者が別の物件では最高価格で応札している。物件により応札額に変動が生じることについて、どのように考えるか。</p> <p>○ 治山工事に係るコンサルタント業務の低入札価格調査の基準を教えてほしい。</p> <p>○ 鈴ヶ森林道外6路線測量・設計業務に係る業務は、随意契約で行っているが、適用法令、随契理由を説明願いたい。</p>	<p>○ 平成21年6月から低入札基準価格制度が導入され、総合評価落札方式の導入についても林野庁において検討されているところである。 成果品については、中間報告書を提出させており品質低下を招かないよう指導している。 発注者としてもひきつづき低入札基準価格制度に基づく調査を行うとともに、より良い積算が行えるよう取り組んでいく必要があると考える。</p> <p>○ 本件は電子入札であり、応札者が見えないため談合は考えられない。業者側の受注状況や自治体の公共工事への入札参加状況により応札額に差が生じることもあると思われる。</p> <p>○ 工事の規模、中身にもよるが、概ね予定価格の74%以下の場合、調査対象となっており、労働者の確保計画、財務諸表、積算内訳等について調査を行っている。</p> <p>○ 会計法29の3第4項により、契約の性質又は目的が競争を許さない場合には随契を行うことができる。鈴ヶ森林道外6路線測量・設計業務に係る業務は、突発的な災害に備え、前年度中にあらかじめ公募により、事前審査を行い業者を決めておき、災害が起きた場合には速やかに随契で調査設計を行ってもらうもの。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]</p>	<p>特になし</p>	